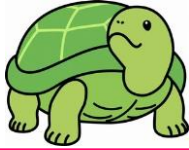


校長室だより



エス プラス 1

「S」+1



令和5年11月7日

半田市立亀崎小学校

発行者：橋本 寛也

6年ぶり「はんだ山車まつり」開催

慶

10/28(土)・29(日)に、6年ぶりとなる「はんだ山車まつり」が盛大に開催されました。6年ぶりでもあり、亀崎の山車がどのように、どういう行程で、市役所前まで山車を曳いて行くのかとても興味をもちました。5つの山車が三社に集まり、ご祈祷の後、市役所まで国道を曳いて廻る山車は、まさに勇壮で絢爛、そのものでした。また山車を曳く威勢のよいかけ声や舵さばきの躍動する姿に心躍る気持ちの高ぶりとなりました。約5時間以上かけて市役所前まで豪華で連帯ある山車曳きは心に強く残るものとなりました。6年ぶりに市内各10地区より31輦の山車が勢揃いするのも半田市ならではの誇りを感じることができました。次回は、4年後。第10回はんだ山車まつりとなります。



PTA教育研修「親の育ち」家庭教育研修会「親業」

10/25(水)にPTA 教育部の研修として、愛知県の子育て支援事業である「親の育ち」家庭教育研修会を学校図書館で行いました。親業訓練インストラクターの鈴木さんを講師にお招きして、「子どもの自立を促し、理解し合う、心通わすコミュニケーション～ゴードン・メソッド（親業）の「聞く」「話す」「対立を解く」から～」というテーマで参加型の研修会を行いました。

研修では、普段何気なく普通にかけている声かけや伝え方が子どもとの会話を阻んでいたり、子どもの自己成長の機会や自己解決の場を奪ってしまっていることなど、目からウロコというか、日頃の子どもへの声かけを見直す学びの場となりました。紙面上一部分しかお伝えできませんが、聞き方と話し方（伝え方）のスキル（コツ）を紹介します。



①話し方・伝え方のスキル（評価や比較で褒める条件付きの肯定ばかりは…!）

☆「あなた、すごいね。えらいね。」という「あなた（You）メッセージ」の伝え方ではなく、「お母さん、うれしいね(^o^)」 「すごく感動した！」など、「私がどう感じたか？」という「わたし（I）メッセージ」で表現していくと子どもの自己肯定感が育ちます。

②聞き方のスキル（受動的な聞き方と能動的な聞き方）

☆受動的な聞き方（そばにいる・沈黙・相づち・促す言葉「うんうん」「それで」）もあるが、つい口を挟んでしまい、聞きだそうとしたり、解決策を探してあげようとしたりしてしまう。

☆能動的な聞き方（繰り返す・言い換える・気持ちをくみ）をすると、子どもが話しているうちに自分自身の問題に気づき、向き合いながら自己解決していく力や肯定感が育まれる。

■親として教師として、聞き方・話し方ひとつで子どもが自己成長していくことにつながっていることをこの研修で学ぶことができました。この研修を機に、子どもとの会話を意識していきたいです。

修学旅行

6年生「奈良・京都への修学旅行」



10/31(火)・11/1(水)の2日間、奈良・京都へ修学旅行に出かけてきました。2日間ともに最高の秋晴れとなり、むしろ日中は暑く感じるほどの陽気となりました。

1日目は「奈良」の「法隆寺」「東大寺の大仏」「奈良公園班別研修」をしてから宿舎に入り、夕食後は夜店でのお土産の買い物を行いました。2日目は「京都」へバスで移動し、各班ごとに計画したタクシー分散研修をして、南禅寺からバスで亀崎までの帰路となりました。

【思い出のフォトアルバム】



普段から楽しむことが得意な6年生。奈良公園での鹿との出会いをおもいきり喜び・楽しんでいました。仲間と学び、ともに過ごした奈良・京都でのひとときは、6年生の絆を深めることができた旅になったことと思います。修学旅行先では、班別行動や宿舎での部屋行動など、一人一人が自分の役に責任をもち、協力しながら、お互いに思いやりながら過ごすことができました。そして、仲間とともに旅ができたこと、旅行会社の方々（添乗員・運転手・ガイド）や旅館の方々に感謝することができた最高の修学旅行でした。今後は卒業に向け、学年目標である「協力」「思いやり」「感謝」を大切に過ごし、さらに絆を深めていきましょう。